



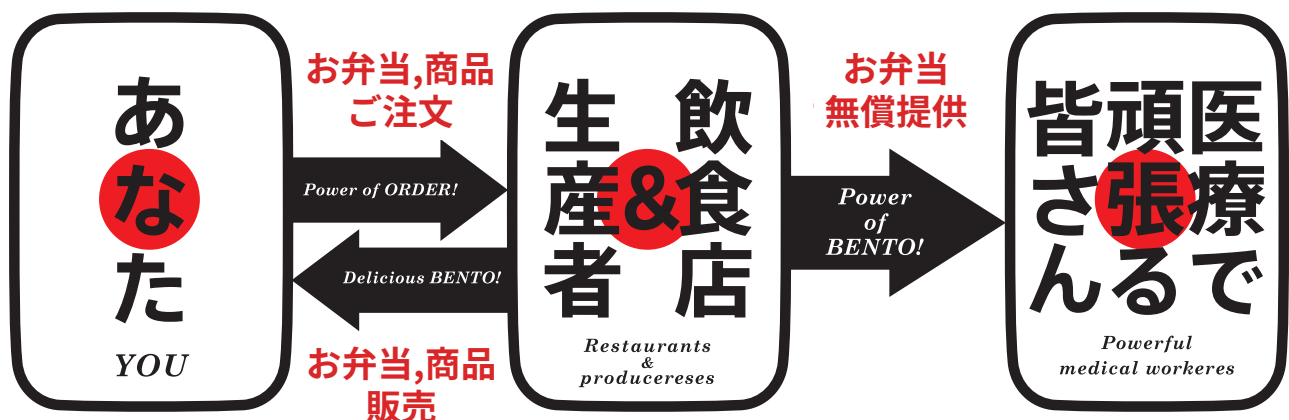
医療で頑張る皆さんにお弁当を届けます。

#powerofbento

そのために、お弁当や食材の購入にご協力ください。

今できることから始めよう。そうした強い想いから「弁当の底力」プロジェクトは京都から始まりました。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のパンデミックによる影響は様々な形で私たちの生活に影を落としています。感染リスクを抑えるために教育機関は休校、東京五輪延期に限らず若者の未来を左右する全国大会やイベント中止、全国で外出や営業の自粛を余儀なくされています。飲食店は営業困難を極め、それに伴い生産現場では農水産物が行き場を失い、食材流通業者は大量の在庫を抱え食品ロスに繋がっています。さらに外出自粛によるストレスから家庭内での問題、感染拡大による医療従事者への急激な負担増加など、負の影響は枚挙に暇がありません。今、誰が一番大変で、誰を助けなければならないか？を決める事はできません。しかし、私たちにできることは、皆さんの底力を結集し、現状突破するためにできることを、今やる。飲食店、食材店だからできること。それは、地域の命を守るため医療の最前線で闘う地域の病院に、今日の体と心を和ませ、明日への底力をみなぎらせるお弁当を届けること。

医療で頑張る皆さんの底力を引き出す「弁当の底力」プロジェクトへの参加を、はじめませんか？



「弁当の底力」プロジェクトに参加している飲食店や食材店にて、お弁当やお惣菜、食材をお買い求めください。そのご注文がこのプロジェクトの源（底力）となります。

お弁当やお惣菜、食材を販売し、その収益の一部で医療従事者にお弁当をつくり配達します。COVID-19の終息を後押しする底力を届けませんか？

毎日、医療の現場で命がけで気力と体力をすり減らし、COVID-19と闘い続ける医療従事者の皆さんへ感謝と応援の気持ちと共に「お弁当の底力」を届けます。

「弁当の底力」プロジェクトの目的

Our goal

- COVID-19を終息させ、いち早く日常を取り戻すため、飲食店と生産者が協力してつくったお弁当をCOVID-19と最前線で闘い、過度の負担を強いられている医療従事者の方々へ届けることで、少しでも体と心を和らげる。
- コロナ終息後に料理人が料理を、生産者が農水産物の生産を、食材店が食材の提供を、それぞれの環境で持続可能であること。

このプロジェクトは、私たちを育ててくれた京都から始まりました。

京都をはじめ京都を愛する全国の方々が、「弁当の底力」プロジェクトに参加している京都の料理店の料理をテイクアウトしたり、お取り寄せしたり、食材店の商品を店舗またはオンラインで購入し、各々の環境でおいしく召し上がっていただくその行為が、そのまま本プロジェクトの目的を達成させる源（底力）になります。

このプロジェクトの活動は、医療現場を支えたい、その思いがスタート地点となり、料理人が料理を続け、生産者が農水産物生産を続け、食材店が商品を提供し続ける。そしてお客様はそれぞれの味を楽しみ続けていただく。飲食店、生産者、そしてひとりひとりのお客様が一つの輪となり、小さいかもしれないけれど、サスティナブルに経済活動を続けていける仕組みです。

「弁当の底力」に参加している全てのお店は皆さんをお迎えできる日を楽しみにしています。その節は、マスクのない笑顔を直接お見せいただき、思いっきりそれぞれの味を楽しんでいただければと思います。医療で頑張る皆さんにおかれましては、COVID-19終息の日まで、健康と安全が守られますように。私たちも頑張ります。

「弁当の底力」プロジェクトに関するお問い合わせ

世話役代表 加藤 謙一 (京中)
お問い合わせメールアドレス
thepowerofbento@gmail.com

「弁当の底力」公式サイト
<https://powerofbento.com>
支援活動履歴はコチラ ▶



参加、後援している方々

(順不同 - 2020 年 5 月現在)

参加飲食店・企業：

一之船入、いなせや、イルフィー口、卯 sagi の一歩、オリーブ、カンティナーナルコ、祇園ささ木、祇園おが和、祇園木田、木乃婦、京料理せんしょう、京中、コムシエミッシェル、さいき、炭屋旅館、清和荘、たん熊北店、竹林平等院表参道、天婦羅よし川、天婦羅永春、まるしん飯店、都食堂、リストランテ野呂

参加食材店・企業：

うね乃、関東屋、通園、丸利吉田銘茶園、森半

後援企業・団体：

エーテルヴァイン、尾張屋、canaria、COIDO、サンライト、全日本・食学会、Viajes、日本料理アカデミー、WAT、和田(立命館大学)